

【町長挨拶】

本日は、6月の定例記者会見に、お忙しいところご出席たまわりまして、ありがとうございます。まず最初に、今月8日、南部盛岡チャグチャグ馬コが開催され、全部で50頭、矢巾町からは13頭の馬が参加しました。特に、矢次の漆原さんの所では、60年ぶりの参加となり、非常に素晴らしいことだと思います。また次の日9日には矢巾町消防演習が行われ、中でも岩手医科大学の学生消防団や、役場新採用職員の参加もあり、今後の防災体制についても期待しております。

本日の定例記者会見では6項目の発表内容がありますので、各担当課から説明頂きます。よろしくお願いします。

【内容発表】（担当者が詳細説明）

1 矢巾町リユース品改修ひろばの開催について（町民環境課）

矢巾町では、リユース品回収によるごみ減量化の取り組み及び環境と福祉の連携を推進することを目的として、社会福祉法人盛岡市民福祉バンクと連携して、衣類・雑貨・家具などをリユース品として回収する「矢巾町リユース品回収ひろば」を6月から開催します。今年度で3回目の開催となります。昨年度は176組の来場者があり、約2000kgのリユース品が回収されました。回収日時は6月15日(土)、7月13日(土)、8月10日(土)、9月28日(土)の計4回、矢巾町役場大型車庫棟前で午前10～11時に行います。回収対象は衣類、雑貨、本、ソフト、家具、スキー、家電製品などで、品物の状態や家電リサイクル法対象製品は対象外となる場合があります。回収された品物については、町内で開催予定の福祉バンクバザーや福祉バンク各店舗で販売され、資源の循環を行う予定となっております。

2 SDGs パートナリーシップ推進フォーラムの開催について（町民環境課）

矢巾町では、企業の非財務情報を開示することでサステナブル経営を推進し、持続可能な地域経済の活性化を目指すことを目的として、協定を締結している株式会社岩手銀行及びサステナブル・ラボ株式会社とともに、SDGs パートナリーシップ推進フォーラムを7月5日に開催します。サステナブル・ラボ株式会社は、あらゆる経済活動のサステナビリティトランスフォーメーションいわゆる **SX** を実現するため、各企業が財務的な判断基準だけでなく、非財務的な判断基準を実装できるよう情報インフラとしてツール「**TERRAST for Enterprise** 略称 **TforE**」を提供しており、本ツールにより企業のサステナビリティに対する取り組みをスコア化して分析することが可能であり、非財務諸表として介入することが可能になります。本イベントでは、岩手銀行よりご紹介いただいた、サステナブル経営に取り組む町内企業3社の取り組みを発表いただくとともに、サステナブル・ラボの TforE を活用してスコア化したものを表彰するアワードなど、矢巾町が町内企業のサステナブル経営を推進していくキックオフイベントとなります。

3 令和6年度夏の花いっぱい運動－県道不動盛岡線について（産業観光課）

矢巾町民憲章に掲げる、緑あふれる美しいまち、和といたわりと希望のまちを目指し、町民の参加のもと花があふれる地域づくりを推進することを目的とし、令和6年度夏の花いっぱい運動―県道不動盛岡線を開催します。日時は令和6年6月30日(日)午前6時～8時、場所は矢巾町県道不動盛岡線沿線（不動小学校東口交差点北側～矢次インター橋南側）の約3.1km。花壇全部で370ヶ所ありますので、そちらに黄色いマリーゴールドの花苗を定植いたします。各地域コミュニティや、ギャンブル依存症の回復施設「グレイス・ロード」の協力もいただく予定となっております。

4 「やはばジャンパこども絵画コンクール 2024」の開催について（文化スポーツ課）

町共催事業「やはば ジャンパこども絵画コンクール 2024」について説明致します。こちらは今回で2回目のコンクールとなります。テーマは前回と同じく「わたしのまちのたからもの」として、矢巾町をイメージした絵画を募集します。応募資格は矢巾町内在住または通園・通学者のうち、3歳以上の未就学児または小学生となっており、参加は無料です。応募の詳細はチラシをご覧ください。応募には出品票が必要となり、チラシ裏面のQRコードからダウンロード可能です。応募方法は矢巾町文化スポーツ課（矢巾町公民館窓口）に持込または郵送としております。締切りは8月31日(土)までです。部門はちびっこ、小学校低学年、中学年、高学年の4つの部門に分かれていて、それぞれの部門から各賞を選出いたします。表彰式は11月2日(土)午前10時からやはばアスレチックパーク jumpaland の駐車場で行われます。作品展示は11月2日(土)から11月4日(月・祝)までやはばアスレチックパーク jumpaland1.2階で行われます。応募いただいた方全員に、参加賞としまして、やはばアスレチックパーク jumpaland の入場無料券を1枚プレゼントします。また、各部門の矢巾町長賞に選ばれますと、やはばアスレチックパーク jumpaland の壁面窓に絵画がラッピングされるという特典もございます。

5 友好都市フリモント町からの訪問団来庁について（文化スポーツ課）

友好都市フリモント町からの訪問団来町について説明致します。期間は6月22日(土)から7月1日(月)までの10日間となっております。訪問団は9名（フリモント町副町長、引率教諭2名、中学生6名）来町します。内容としましては、滞在中はホームステイをとおして日本の文化や生活習慣に触れるほか、平日は町内の中学校や不来方高校に通い、準備してきたプレゼンテーションを授業で披露します。主な日程は22日(土)15時30分からやはば一くにてウェルカムセレモニーを行います。24日(月)は不来方高校を訪問します。25日(火)は町内ツアーを行ったのち、16時から町長表敬訪問を行います。26日(水)から27日(木)午前までは矢巾中学校を訪問し、午後から28日(金)は矢巾北中学校を訪問します。

6 公開講座「大腸がん講演会」について（健康長寿課）

公開講座「大腸がん講演会」について説明致します。日付は令和6年7月6日(土)午後2時から午後3時30分まで。場所は矢巾町公民館3階大研修室となっております。矢巾町民公開講座「しっかり治す大腸がんの話」としまして、岩手医科大学附属病院

外科学講座八重樫瑞典先生をお迎えして講演をしていただきます。定員は 150 名の予定ですが、座席の準備がございますので事前の申し込みを受け付けております。申し込みについては電話、FAX、または QR コードを読み取っていただいて、メールフォームから受付をいたします。こちらの公開講座は岩手医科大学の地域課題解決演習の一環として、病気の理解を深める講義を町民向けに一般公開するような形で行います。ぜひたくさんの方の来場をお待ちしておりますので、事前の周知をお願いしたいと思います。

【質疑】

《SDGs パートナリシップ推進フォーラムの開催について》

●記者

キックオフイベントとのことですが、改めて今回の趣旨や位置づけを教えてください。

●担当者

キックオフイベントとしての趣旨としましては、いまサステナブル経営に関して非財務の部分が大企業に関しては開示が義務づけられる方向性にありますが、中小企業についてはそこまでではないため、町内の企業がサステナブル経営をスコア化することで大企業との取引において PR につながります。アワードについては、サステナブル・ラボが提供するツールを使ってスコア化したものを各部門ごとに表彰し、参加企業の励みになればと考えています。

《夏の花いっぱい運動について》

●記者

花いっぱい運動は今年で何年目で、何名の参加が予定されているか。

●担当者

何年目かは把握していないため、後ほど確認して回答します。参加人数については、自治会・団体・役場職員あわせて 511 名の参加を予定しております。

●記者

ギャンブル依存症の回復施設「グレイス・ロード」からは何名の参加が予定されているか。

●担当者

山梨にある一般社団法人グレイスロードと、矢巾にあるグレイス・ロード岩手サポートセンターから、それぞれ 8 名ずつの参加を予定しております。

《友好都市フリモント町からの訪問団来庁について》

●記者

取材のタイミングについてはどちらを予定しているか。

●担当者

取材は 6 月 22 日のウェルカムセレモニーと 25 日の町長表敬訪問で対応可能です。学校での取材を希望する場合は学校側と協議の上、対応させていただきます。

● 記者

フリモント町はどちらの国か。

● 担当者

フリモント町はアメリカ合衆国ミシガン州ニューウェゴ郡にございます。

● 記者

内容のプレゼンテーション披露については双方の学校が行うのか。

● 担当者

今回はフリモント町の生徒が準備してきたものを矢巾町内の学校で発表するという内容となっております。

● 記者

毎年開催しているものなのか。

● 担当者

コロナ禍ということがございまして、令和 2 年～4 年度まで中止しておりましたが、昨年から再開をしております。

《やはばジャンパこども絵画コンクール 2024 の開催について》

● 記者

昨年の応募作品数が分かれば教えてほしい。

● 担当者

昨年は全部で 249 点が審査対象となっております、部門ごとですと、ちびっこの部 166 点、低学年の部 40 点、中学年の部 26 点、高学年の部 17 点となっております。

《公開講座「大腸がん講演会」について》

● 記者

大腸がんが死因の第 1 位となったのは何年からか。

● 担当者

大腸がんが死因の 1 位ということではなく、死因の第 1 位ががんということで、それは矢巾町だけでなく日本全国に言えることで、数十年にわたって不動の 1 位となっております。

(9 : 30 終了)